

大津町議会経済建設常任委員会と南阿蘇村議会総務常任委員会との

意見交換会 会議録

1. 日 時 令和元年5月17日（金）午後4時

2. 場 所 南阿蘇村庁舎 2階 庁議室

3. 出席者 (大津町側) 7人

委員会 永田委員長 津田副委員長 豊瀬委員 金田委員
山本委員

議会 桐原議長

議会事務局 矢野局長

(南阿蘇村側) 8人

委員会 太田委員長 丸野副委員長 山室委員（副議長）
立石委員 今村委員

議会 荒牧議長

議会事務局 今村局長 長野主幹

4. 議題（意見交換）

※ 阿蘇ブランドを活用した地域振興、鉄道や空港アクセス等公共交通体系での 県北地域連携について意見交換を行った

大 津：南阿蘇村では、インバウンド対策は何か行っているか。

南阿蘇：看板を多言語化したり、W i - F i スポットを増設している。これにより、
S N Sを見て、南阿蘇に関心を持ってもらう外国人を増やしたいと思っている。

大 津：レンタル自転車を観光目的で導入されたが、状況は如何か。

南阿蘇：マウンテンバイクを導入した。まだはじめてばかり。

大 津：南阿蘇鉄道の復旧状況は如何か。

南阿蘇：予定どおりと聞いている。

南阿蘇：J R 豊肥本線の電化により、南阿蘇や阿蘇については、肥後大津駅で乗り
替えしなくてはならず不便になった。肥後大津から阿蘇方面への増便をし
てほしい。

立野駅までの電化も、大津町を含め沿線自治体に協力いただき国土交通省
等に提出した。蓄電池式電車の「デンチャ」の導入も面白いと思っている。
熊本市方面へのアクセス向上を図り、交通の不便さを解消したい。

南阿蘇：南阿蘇村としては、企業誘致や商業施設については、ぜひ大津町にがんば
ってほしいと思っている。そして、交通の不便さを解消することにより、
そこで働く人が南阿蘇に定住していただけるような、まちづくりを進めた

いと思っている。

大 津：電化はぜひ推進していきたい。

これからは、日本武道などの体験型の観光が求められている。

両町村にワンピース像の設置も決まり、お互いの交流人口が増すきっかけになればと思っている。

南阿蘇：観光事業には力を入れたい。

南阿蘇村では、株式会社くまもとDMCを活用した情報発信を計画している。

このため、村の観光協会は無くなり、こちらへの移行するかもしれない。

大 津：それぞれの自治体が、お互いの情報を共有し、今後も有意義な会となるよう継続して行きたい。

閉会 午後5時05分